

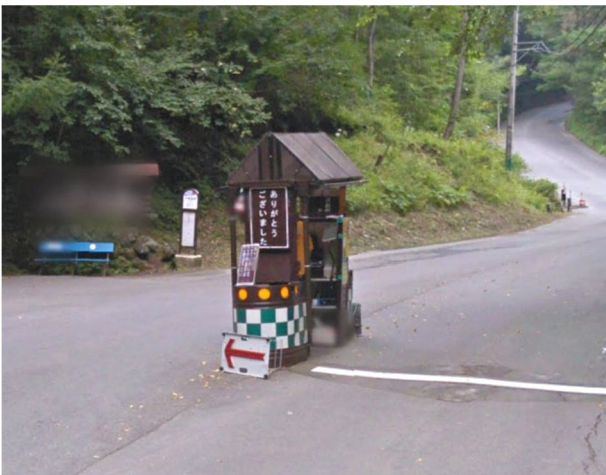
「夜の動物街道 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

私が「動物街道」と呼んでいる「白糸ハイランドウェイ」は、軽井沢の「三笠」から「白糸の滝」を經由して、浅間高原の入口である「峰の茶屋」までを結んでいる有料道路である。有料道路とはいっても、草軽交通が運営している細い道である。草軽交通はかつての草軽電鉄の後継会社で、現在はこの有料道路に北軽井沢や草津温泉行きの路線バスを走らせている。



写真は夏の様子だが、夏でも交通量は少なく、有料道路というよりは「林道」に近い路面である。景色も国道とちがって、深山幽谷の雰囲気を持っている。



これは小瀬温泉にある「料金所」。たぶん「日本一粗末な料金所」だろう。夜間は係員も不在で「次の料金所でお支払ください」と表示されているが、次の料金所も不在なので、払いたくても払えない。矢ヶ崎川の上流に沿った山深い道なので、夏でもいろいろな動物を見かける。しかし、圧倒的によく動物に出会うのは、冬の夜間である。先日(12月26日)の深夜に、

軽井沢からこの道を上ってみた。動物は急に飛び出してくるので、運転はかなり慎重にしなければいけない。しかし、カメラの準備も万全にする必要がある。



最初に出会ったのは、何とニホンカモシカだった。道の左斜面から飛び出して、私の車を横切ったあと、路肩の鋼索をジャンプ。その後「はい撮ってね」とばかり、ちゃんと振り向いてポーズ。さすが特別天然記念物だけあって、サービスがいい。しかし撮る方は慌てていて、うまくピントが合っていなかった。



「ニホンカモシカ」 本白根山で撮影 C.Tanaka

ニホンカモシカ *Capricornis crispus* は、「シカ」と名乗っているが、実はシカ科ではなくウシ科の動物で、顔も決してハンサムとは言えない。軽井沢町在住の方の話では、近年よく見かけるようになったそうだ。